

来賓挨拶：国土交通省官房審議官 望月一範氏

・今回は、新型コロナウイルスの感染という未曾有の事態の中で、開催に向けて尽力され小林会長をはじめ、主催者、関係者の皆様に深く敬意を表したい。また、本日参加の皆様には、それぞれの地域、それぞれのお立場で、まちづくり、エリアマネジメント活動を実践していただいていることに対し感謝申し上げます。

・本日のシンポジウムでは「地域経済の再興とエリアの力」をテーマに、ウィズコロナ、アフターコロナにおける地域経済の再興に向けた議論が行われるが、まさに時宜を得た非常に重要なテーマ設定。

・貴重な機会を頂いたので国土交通省都市局の最近の取り組みを二つ紹介したい。1点目は、8月31日に「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」という報告書を公表したこと。2点目は、ウォークブルなまちづくり、居心地がよく、歩きたくなるまちづくりに向けた制度の創設。今月7日から施行された都市再生法の改正により、官民による公共空間の改変、オープンスペースの提供や利活用など、街中における交流、滞在空間の創出を、法律、予算、税制で支援する制度を新たに設けたので、皆様のエリマネ活動の場でも、ぜひ広くご活用頂きたい。